

サロン便り 令和3年度 第3号 頭の体操コーナー解答

① 明石湯(あかしがた) *Camellia japonica Akashigata*

紅桃色 八重 平開咲き 筒しべ **極大輪** 1859年の「椿伊呂波名寄色附」に載る古い品種花つきの良い豪華な大輪で 日本種のうちでは最も大きいものの一つ。 21年3月 自宅栽培種 W16.0cm



② 乙女椿(おとめつばき) *Camellia japonica Otome-tsubaki*

挿し木でふやしやすく、刈り込みに耐えることから公園樹としてもよく植えられている。庭木や生け垣にも向く。かつては接ぎ木用の台木としても広く利用された。本種は江戸後期の『本草図譜』(1829年)に掲載がある古くからの品種。古名/乙女(おとめ) 別名/淡乙女(うすおとめ) (色分け花図鑑 椿 350種/学習研究社刊 桐野秋豊著 より)



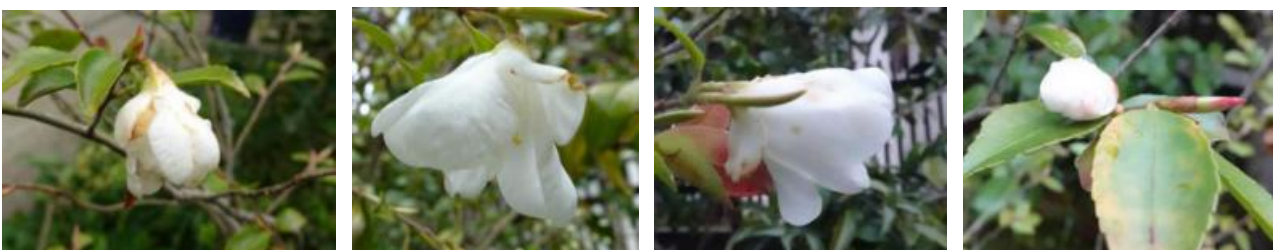
③ 玉之浦(たまのうら) *Camellia japonica Tamanoura*

濃紅色に白覆輪の美しい花で、紅白の対比があざやか。本種は自然豊かな五島列島福江島の野生ヤブツバキの突然変異体。長崎県椿協会会長であった地元の藤田友一氏が、1973年の椿展に出品して世の注目をあびた。以後、爆発的な人気で海外にも普及した。現在、市町村合併で新しく五島市となった地元のシンボルフラワーとなっている。(色分け花図鑑 より)



④ 原種椿 ルチエンシス(別名:姫山茶花ひめさざんか) *Camellia lutchuensis*

白色 一重 **極小輪** 有香 自生地:西表島~奄美大島(沖縄)ヒメサザンカ(姫山茶花)とも呼ばれる原種で 香りが強く 交配により多くの香り椿が生まれている。(和みの庭のツバキたち より)



21年4月 自宅栽培種 W3.8cm